

福井県高速交通開通 アクション・プログラム

別冊 (エリア別プロジェクト集)

平成28年3月策定
令和5年3月改定

趣 旨

この冊子は、「高速交通開通アクション・プログラム」に掲げた基本戦略を実行に移すため、エリア別に具体的なプロジェクトをとりまとめたものです。

県民が個々のプロジェクトを認識・共有できるようにするため、その実施主体、場所、事業費、事業期間、事業内容を、地図や工程表などにより分かりやすく図解しています。

各プロジェクトは、完成までに長期間を要する大規模事業が中心ですが、その整備効果を一年でも早く発揮できるよう長期的見通しをもって計画的に進めます。当面は、東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズの開催など国内外から多くの人々が訪れる機会が続くことから、それぞれの節目にあわせて、二次交通の拡充、都市や地域の基盤づくりを進めます。

こうした新しい基盤を活かすため、「福井県長期ビジョン」をはじめ、「ふくい観光ビジョン」や「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」、「福井経済新戦略」などに掲げる関連施策を一体的に実施します。

なお、この冊子は各プロジェクトごとに、これまでの施策の成果および今後実行する内容などをまとめたものです。今後の状況変化に応じて継続的に見直し、再開発事業など民間のプロジェクトも含めて追加・充実していきます。

県内外の主要日程・主なアニバーサリー（周年）

2016年度 （平成28年度）	2017年度 （平成29年度）	2018年度 （平成30年度）	2019年度 （令和元年度）	2020年度 （令和2年度）	2021年度 （令和3年度）	2022年度 （令和4年度）	2023年度 （令和5年度）	2024年度～ （令和6年度）
丸岡城築城440年 福井城築城410年	中部縦貫道延伸 （永平寺大野道路） 白山開山1300年	福井国体開催 明治維新150年	敦賀港開港120年	置県140年 恐竜博物館開館 20年 越前大野城築城 440年	東京オリンピック・ パラリンピック開催 一乗谷城下町建設 550年 蓮如、吉崎の坊舎 建立550年	中部縦貫道延伸 （大野・勝原間）※2 敦賀港線開通140年 欧亜国際連絡列車 開通110年	北陸新幹線 ※1 福井・敦賀開業 国道417号 冠山峠道路開通 中部縦貫道延伸 （勝原・九頭竜間）	中部縦貫道 県内全線開通 （2026春） 大阪・関西万博開催 （2025） ※2 あわら温泉開湯140年 （2024） ワールドマスターズ ゲームズ開催（2027） 新幹線大阪開業 （未定）

※1 「北陸新幹線の取扱いについて」（R2.12.16国土交通大臣） ※2 開通見通し公表（R3.4.27）

— 目 次 —

I 嶺北エリア

1	福井駅周辺エリア	1
	(1) 福井駅および駅周辺のまちづくり	(3)
	(2) 県都デザイン戦略の新展開	(5)
	(3) 一乗谷ミュージアム化の推進	(7)
	(4) 永平寺周辺の環境整備	(9)
	(5) 越前海岸の周遊観光ルート化	(12)
2	芦原温泉駅周辺エリア	14
	(1) 芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり	(17)
	(2) あわら温泉街のまちなみ形成	(18)
	(3) 吉崎周辺の活性化	(19)
	(4) 東尋坊の景観形成	(20)
	(5) 三国湊の町家活用	(21)
	(6) 丸岡城周辺の周遊化・まちづくり	(22)
	(7) パイプライン活用型の農業・園芸の拡大	(23)
3	越前たけふ駅周辺エリア	24
	(1) 越前たけふ駅および駅周辺のまちづくり	(26)
	(2) 越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり	(27)
	(3) コンパクトな鯖江のまちづくり	(28)
	(4) 伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化	(29)
	(5) 南条SAの集客力の活用および産業基盤の整備	(30)
	(6) 今庄宿の歴史空間の再生	(31)
	(7) 里山里海湖の保全・活用	(32)
	(8) 志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充	(33)
4	中部縦貫自動車道周辺エリア	34
	(1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備	(37)
	(2) ダイナソーバレーリゾートの形成	(38)
	(3) 白山平泉寺および越前禅定道の再生	(41)
	(4) 歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生	(42)
	(5) 六呂師高原の活性化	(43)
	(6) 化石資源の活用	(44)

II	若狭湾エリア		
1	新幹線敦賀駅周辺エリア	46	
	(1) 敦賀駅および駅周辺のまちづくり	(48)	
	(2) 金ヶ崎周辺整備構想の実現	(50)	
2	新幹線小浜市附近駅周辺エリア	52	
	(1) 小浜駅を中心とした市街地の魅力向上	(54)	
	(2) 現市街地から新幹線駅周辺にかけてのまちづくり	(55)	
3	広域若狭湾エリア	56	
	(1) 若狭湾エリアの玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化（交通体系）	(60)	
	(2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用		
	①海湖と歴史を活かした交流の拡大（交流人口）	(62)	
	②若狭フード・コーストの形成（特徴発揮）	(67)	
	③自然環境の活用とエネルギー開発の共立（学術・研究の拠点戦略）	(70)	
	(3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致		
	①まちづくりや産業のプレイヤーの育成（人材育成）	(71)	
	②都市との交流を通じたライフスタイル先進地の形成（定住戦略）	(72)	
III	広域プロジェクト・ソフト施策	74	
	(1) 地域公共交通ネットワークの拡充	(76)	
	(2) 里山里海湖ビジネスの拡大	(77)	
	(3) 日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信	(78)	
	(4) 里山里海湖の景観の保全・活用	(79)	
IV	市町等の応援方策	80	
V	近隣府県との連携プロジェクト	81	

凡 例 ※黒字は着手済みの事業 ※赤字は2023年度予算の新規事業等
 ※青字は、新幹線開業後も継続予定の事業

赤枠内は
 県および市町の2023年度
 実施事業の内容